

MANGA議連「ニッポンのマンガ＊アニメ＊ゲーム展」視察

参加者

- ・ 古屋圭司会長
- ・ 馳浩幹事長
- ・ 山田太郎



会議ではマンガ・アニメ・ゲームの現状と、
TPPの著作権の非親告罪化の問題、そして
同人誌などの二次創作の重要性について訴えました



- 会場には1989年（平成元年・手塚治虫先生が亡くなられた年）以降に流行したマンガ・アニメ・ゲームが展示されていましたが、これらの作品は、などは従来のように週刊誌から誕生するものだけではありません。たとえば、「ひぐらしのなく頃に」のように同人サークルのゲームから生まれたものや、YOUTUBEなどの動画共有サイトから生まれたものもあります。
- 私は議員たちには、このような具体的なケースを説明しつつ、展示されている作品の作家たちが少しずつ他作品の真似をしながら育ってきた事実、そして、著作権の非親告罪化が進んでしまうと作家の卵たちが生まれる道を閉ざしてしまうことなどを訴えました！